

私立大学図書館協会東地区部会研究部 第9期 第4回

2017研修分科会開催案内

日時：2017年10月5日（木） 13時～17時

会場：明治学院大学白金キャンパス 記念館2階会議室

テーマ：機関リポジトリを知る



第4回 事前課題

「自館の機関リポジトリを知る」

各自所属機関のリポジトリ（共同リポジトリ含む）について調査し、プレゼン資料としてまとめてください。

- ▶ 調査項目は別紙参照。
- ▶ PowerPoint, Keynote, preziどの形式でも可。
- ▶ ファイル名を「課題4_〇〇大氏名」として、ML (2017kenshu@googlegroups.com) に提出。
- ▶ 提出期限：9月29日（金）

当日は一人3分で発表してもらい、別の人がそれにコメントをします。

Time Table

13:00-14:30	講演（阿部潤也氏）
14:30-14:45	ティーブレイク
14:45-16:00	課題発表
16:00-16:20	情報提供
16:20-16:30	事務連絡
16:30-17:00	明治学院大学図書館見学

講演 機関リポジトリを知る

阿部潤也氏（東京歯科大学図書館）

2017年5月時点で国内のリポジトリ公開機関数は構築中を含めて789機関にのぼります（NII 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 <https://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/> による）。皆さんの中には大学図書館で勤務を始めた時点で図書館がリポジトリの業務を行っていて、当たり前のように受け止められている方もいるかも知れませんが、どうして大学図書館では機関リポジトリ公開に力を入れているか考えてみましょう。研修分科会では、2011年から必ず毎年このテーマを取りあげてきました。「機関リポジトリ」について、その成り立ちや意義、概要を知ることが、現代の大学図書館の役割・機能とは何かを考える上で欠かせないテーマだからです。今年も私立大学で最初にオープンアクセス方針を策定された東京歯科大学図書館の阿部潤也氏にご講演をお願いしました。

NIIが提供するリポジトリシステムであるJAIRO Cloudを基盤として、オープンアクセスリポジトリを共同運営していこうという趣旨で、2016年7月27日にオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)が発足しました。これらの動向は、内閣府が打ち出す「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討」（<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/>）の中にも、位置付けられ、今後は「オープンデータ」と共に、一層重要性を増してくると思われます。大学図書館の機能を、研究・教育に必要な学術情報を提供する事と捉え、オープンアクセスの動きの中のひとつの方法として「機関リポジトリ」を知ると、大学図書館は学術情報流通の根幹を担っているという使命が見えてきます。その様な視点で私たちの仕事を考えてみる機会にしたいと思います。そして、将来大学図書館は何を、どのように提供するようになるか、一緒に考えてみましょう。

連絡事項

▶ 明治学院大学図書館見学

今回会場をご提供くださった明治学院大学図書館を見学させていただきます。開館中ですので、利用者の迷惑にならないよう気をつけましょう。名札を忘れずに。

▶ 情報提供

「これからの学術情報システムに関する意見交換会」が10月2日から全国5か所で開催されます。東京会場は12月20日（受付開始10/2）。詳しくは以下のURLをご覧ください。

<http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/event/forum2017.html>

「電子情報資源のデータの管理・共有について」「NACSIS-CAT/ILLの再構築（軽量化・合理化）について」の説明と意見交換が行われる予定です。今後の図書館業務に深く関わる内容と書かれていますが、皆さん資料を読んだことがありますか？意見を述べられる貴重な機会を無駄にしないため、事前に事柄を解説しようと思います。

▶ 夏季見学ツアー写真

8月10日の写真を
Googleフォトにアップ
して、共有しました。
写真の追加も歓迎です！

<https://goo.gl/photos/C3aMLTgkxLDCnrrW6>



IAAL事務局連絡先

〒171-0021 豊島区西池袋

5-14-8 6F

E-mail: info@iaal.jp

IAAL緊急連絡先（高野携帯
番号）080-8442-6588